

2022年(令和4年)

第847号

8月

編集及び発行人:
東京土建一般労働組合
杉並支部
杉並区高円寺南3-6-2
TEL(3313)1445
FAX(3313)7096
メール doken-suginami@mx10.ttcn.ne.jp
定価1部50円(購読料は組合費に含む)

●建設業に働くみなさんの仕事とくらしを応援します

すぎなみ

支部会館休館のお知らせ

下記日程は支部会館を休館します。
8月22日(月)午後 全書記決起集会
9月1日(木)終日 書局会議
土・日・祝日も休館

無料経営相談会

9月22日(木)10時~12時
けんせつプラザ東京(要予約)

3年ぶりのネイチャー体験

親子39人が大自然を満喫

大キャンプでふれあい

大自然の中でのびのび交流しました



虫もたくさん

7月23日(土)の朝7時30分に支部会館前をバスで出発した大キャンプ交流会・ネイチャー体験。緑あふれる芦川グリーンロッジに着いて最初の企画は昼食の流しそうめん。流れる麺をお箸で器用に取ったり、取れずに悔やしがったり、子どもたちは大興奮です。食後は川遊びを楽しんでから、みんなで夕食の準備。カレーとデザート

7月23日(土)~24日(日)に、後継者対策部・主婦の会共催の大キャンプ交流会・ネイチャー体験をおこない、39人が参加しました。山梨県笛吹市の芦川グリーンロッジに泊まり、日頃の都会の喧騒を離れた大自然の中で大いに交流しました。

をつくりました。デザートは低学年の子どもたちだけで挑戦。山の時間は早い。まだ空も明るい午後5時から夕食タイム。自然の中でいっぱい遊んだ後にみんなでつくったカレーは本当においしく、おかわりの声が響きました。

キャンプファイヤー



お腹いっぱいになったら一休みして、夜8時からキャンプファイヤーと花火、カブトムシとりも。白いシートに集まった虫たちに子どもたちは興味津々。花火も、打ち

花火



朝食づくり



夕食づくり

翌日は7時起床でホットドッグをつくって食べた後、10時からニジマスになりながら捕まえたニジマスは、一匹ずつ串を刺し昼のバーベキューを彩りました。夏休みの最初の思い出ができたようです。



ニジマスつかみどり



流しそうめん

7.25 国民平和大行進

出発前集会是岸本さとこ新区長も参加



沿道に手を振り代表が行進

7月25日に杉並での国民平和大行進がおこなわれ、出発前の小集会受到から22人が参加。岸本さとこ区長からも激励あいさつを受けました。その後中野区の杉山公園まで、代表のみの少人数で行進しました。

核も原爆もない世界へ



岸本さとこ区長も激励あいさつ

7月25日、午前10時から杉並区役所前広場で出発集会を開催しました。冒頭、激励あいさつは岸本さとこ新区長。この10年以上、歴代区長自らが参加することはなかったという点に加え、何より、そのあいさつの内容に参加者たちは大いに励まされました。

杉並の原水爆禁止運動をまとめ、本を片手に参加した岸本区長のあいさつは、住民運動と区が結びついた杉並の原水爆禁止署名運動から説き起こし、ロシアのウクライナ侵攻問題で示されたように核兵器や軍事プロックでは平和は守れないこと、だからこそ核兵器禁止条約に結実したような運動が大切で、その発祥の地たる杉並区の区民の一人として、また責任ある区長として力を尽くしたいとお話しました。

小集会后は代表のみ25人規模での行進となりました。風は吹いても真夏の日差しが注ぐ猛暑の中、杉並支部前で給水を受け、元気に中野区の杉山公園まで行進しました。途中、東高円寺駅前で「原水爆も原爆もいらないというみなさんの意見、私も同じ気持ちです」という若者の飛び入り参加もありました。人類と相容れない核兵器や原爆のなくなる日まで歩き続けましょう。

今月の紙面から

2 平和特集

7月25日、平和のつどいを開催。杉並の原水爆禁止運動の原点を確認しました。



本部平和共同取材の話も掲載。

3 インボイス問題

来年10月からの実施にむけて登録がすすめられるインボイスの危険性とは。



支部のホームページはこちら

https://www.doken-suginami.org/shibu/index.html

東京土建杉並支部

検索

猛暑の備え空調服
(岸川正・常任執行委員)

疲労感もまったく違います。異常気象が日常になつてしまった中で、せめてもの安全対策として、まだの方はぜひ活用を。

片陽

▼今年の6月25日から7月3日にかけて、9日連続で最高気温が35℃以上となる「猛暑日」でした。6月30日の最高気温は36.4℃となり6月の気温で観測史上最高です。6月27日の最も早い梅雨明けからいきなりの高気温続きは、体が慣れる間もなく、本当に堪える暑さでした。▼私が子どものころは、杉並区もまだ田んぼや畑、林が点在していて、こんな暑さではなかったと思います(気象庁のデータを見ても気温の上昇は確実)。▼強い日差しとコンクリートで固められた街、そしてクルマのクーラーやエアコンの室外機から熱風が押し寄せる夏……、私は外壁や屋根の塗装をしています。職人の後継者不足が解消しないのも納得の季節です。▼そんな暑さの中で、最近急速に普及したのが空調服。私も当初は使っていませんでしたが、一度着たら外せなくなりました。疲労感もまったく違います。異常気象が日常になつてしまった中で、せめてもの安全対策として、まだの方はぜひ活用を。

7/25 杉並平和のつどい

庶民が声あげ世界を変えた経験

7月25日、夜7時から杉並平和のつどいを支部会館で開催し、41人が参加しました。今回は竹内ひで子さん、松本浩さんの講演、佐々木征さん、中村ひろみさんの報告という4つのお話を聞き、杉並の原水爆禁止運動の原点を確認し、運動の継承への思いを新たにすると集会となりました。



竹内ひで子さん

放射能マグロ報道 食卓から魚消え

最初の講演はすぎなみピースフォーラムの竹内ひで子さん。杉並の原水爆禁止運動の発端となった魚屋・菅原さんの娘さんです。1954年のビキニ事件当時は小学生でした。竹内さんがまず話し

たのは、水爆実験で第五福竜丸が被ばく(他1,000隻以上が被害に)、魚が放射能で汚染されたことが報じられ、貴重なタンパク源である魚が食卓から消えて日本中が大騒ぎになったこと。魚屋さんたちも、車を持っていく人が仲間を乗せて買い出しに行っていたように強いつながりがあった中、買出人たちが話し合い「安心して食べられる魚を得るには原水爆はいらぬ。アメリカと日本政府に補償を求

めよう」と決めて抗議の活動を始めたことなどを語りました。

そして戦後の杉並では、戦争の反省から教養講座などを中心に女性が集まり話し合う場がさまざまあり、会合の中で竹内さんの母が手を挙げて「水爆のせいで魚が全く売れなくなった。魚屋を助けてください」と震える声で訴えたことを話しました。

「全人類の問題」 杉並区も全面協力

公民館長の安井郁さんが「これは魚屋さんだけでなく全人類の問題だ」と引き取ってすぐに別室で会議が開かれ、女性たちが運動を広げたこと、それに

杉並区政や区議会も全面的に協力した点が特徴的だと指摘しました。

続いて原水爆署名運動の盛り上がり、それまでプレスコードで隠されたものを明るみに出した話。

ヒバクシャの声が 全国に響き始めて

肩身の狭い思いをして沈黙させられていたヒバクシャたちが署名運動に励まされて声をあげ、全国に広島・長崎の被害が知られ、運動はたちまち大きく広がって翌年の原水爆禁止世界大会へと結実した。生きた言葉で人間が訴え、人々が共感して行動していくことは、杉並の民主運動の

一世がいなくなる 継承の壁は高い



松本浩一さん

次の講演は杉並の被ばく者団体・光友会の松本浩一さん(被ばく3世)。運動の中心である被ばく一世(被ばく者本人)が亡くなつていき、都内の団体も減少していること、2世や3世が語っても、自分で体験した人が語る

禁止条約の陳情 否決の区議会へ再び

杉並平和委員会の佐々木征さんは、そもそも杉並区議会が各委員会の委員長判断でほとんど陳情を審議しない体質になっていく問題点を指摘。その



佐々木征さん

今後は再び区議会に陳情をだしていくことや、従来の団体の垣根を越えるより広い運動への展望などを語りました。

被害だけでなく加害も

戦争体験の継承を



戦争の負の側面、加害体験も決して忘れてはなりません。戦後77年経ち、戦地で戦った経験を語る組合員さんもいなくなりました。

最後に取材できた川鱈浪七さんの言葉を紹介いたします(2017年10月号再掲)。

「軍隊ではことあるごとに連帯責任で飯も食えないほど殴られました。出征した朝鮮半島の大邱では、上官が現地の人を軍刀で脅し値引きを強要。そういう軍人たちも、もとは普通の人でした。戦争は勝つも負けるもなく、一生を変えてしまいます。」……戦争は庶民には悪いことしかありません。



川鱈浪七さんの語った戦争の実体験はコチラ 2011年のすぎなみ新年号

4つの日

戦争を振り返る

加害体験を考える上で忘れてはいけない日

- 3月10日 陸軍記念日 ※東京大空襲の被害の日でもある
7月7日 盧溝橋事件
9月18日 柳条湖事件
12月8日 太平洋戦争開戦

まとめ

民主主義を再び杉並から

つどいのまとめで原田あきら都議はこの間杉並で衆議院議員を変え、区長も変えた民主的な区民



原田あきらさん

運動の原点を確認できた指摘。ウクライナ戦争などを口実に軍拡と生活破壊をすすめる政治を止める運動を広げ、岸本区長を支えようと、民主主義を再び杉並から発信していく起

4つの日

戦没者慰霊

戦没者慰霊の項目で忘れてはならない4つの日のおさらいです。

- ①6月23日 沖縄慰霊の日 地上戦がおこなわれた沖縄では軍人約9万人、一般住民は14万人ともいわれる人が亡くなりました。今なお国土面積の0.6%しかない沖縄に日本にある米軍基地の70%が存在しています。
②8月6日 広島原爆の日 一発の原爆で年内に20万人が死亡。
③8月9日 長崎原爆の日 一発の原爆で7万人以上が死亡。
④8月15日 終戦記念日 政府がポツダム宣言の受諾を連合国に伝えたのは14日。このあとも戦闘で命を落とした人はいます。国際法上は9月2日協定の調印日で終戦。

7.10 本部平和共同取材

ジャーナリスト志葉玲/ウクライナの話 おしどりマコ・ケン/福島第一原発事故の話より

文責・編集部

戦争の犠牲になるのは市民と兵士



スライドで説明する志葉玲さん

2013年にウクライナの市民マモを親ロシアの大統領が暴力で弾圧し、翌年市民運動の高まりを受けロシアに亡命(マイダン革命)。

4月に現地入りして独自取材。キウウ北西の町ブチャで虐殺された多数の遺体を発見。4月でも寒く、水もない市民の苦境を自撃。さらに被害の深刻な北西の町ポロディアンカを取材し、前線に近い東部のハルキウに移動。爆撃があり、数分前まで話を聞いた建物が炎上する危険な取材をしてきた志葉さんは「権力者に戦争をさせてはいけない。日本は憲法9条こそ広げるべきだ」と語りました。

変わらない国と東電の体質



左がケンさん右がマコさん

おしどりマコ・ケンさんは芸人とジャーナリストの二足のわらじで活躍中。建設アセスメント問題も取材していますが今回は原発問題のお話でした。福島原発事故後、東電の記者会見に出続け今では最古参に。事故直後、東京で活動する芸能人が自分の子どもや家族だけは早々に西日本に避難させた様子を見て疑問を持ち、ちゃんと知りた

「いままで説明も油断するといつの間にかすり替わし、安全重視の姿勢はなく原発再稼働は論外です。政治の問題でもありますが。(身近な人たち)半径5mから声をかけて変えていく」と話しました。

半徑5m身近な人から話して 権力者の野望止める9条こそ

ジャーナリストの志葉玲さんはウクライナ取材の報告。小麦の輸出世界一のロシアと世界5位のウクライナの「世界のパンかご」の戦争は2月24日に起きたのでなく2014年から始まっているとしました。

3月にロシアがクリミアを武力併合しさらにドンバス地方でもイゴール・ガーキンの暗躍でドンバス戦争となり、以後も続く戦争が拡大されたのが現状との理解。



募集

■防水 (塩ビシート) ■ 【社員】

(株)UPstart
代表 相澤 秀明
杉並区永福1-39-9-106
Tel. 03-6677-3747

■ガラス工 ■ 【社員】

(株)住硝
代表 市 大介
杉並区高井戸西2-12-16水村ビル1F
Tel. 03-3331-2281

■揚重工 ■ 【社員】

秀英舎
代表 飯岡 秀斗
杉並区和田1-13-11-203
Tel. 080-1230-6083

■鉄筋工 ■ 【社員】

(株)浜辺鉄筋工業
代表 浜辺 秋彦
杉並区清水3-8-9
Tel. 03-6913-6211

■現場管理 ■ 【社員】

(株)佐藤工務店
代表 佐藤 雄一郎
杉並区高井戸西2-12-23
Tel. 03-3334-0082

■造園 ■ 【社員】

(株)ネクストグリーン
代表 堀内幸雄
杉並区堀ノ内2-7-7アプチャンプル101
Tel. 03-6677-7168

■空調・ダクト・電気 ■ 【社員】

(株)拓海設備
代表 ガセミ アキバル
中野区弥生町2-36-15A Gビル
Tel. 03-6382-8605

■現場管理 ■ 【社員】

(株)エッジPLAN
代表 島田 幹二郎
杉並区井草2-7-18
Tel. 03-6454-7432

■はつり・解体工 ■ 【社員】

デストラクション
代表 穴澤 司
杉並区堀ノ内3-48-55
Tel. 070-6650-5851

■地質工 ■ 【社員】

下坂地質工業(株)
代表 下坂 慎吾
杉並区阿佐谷北6-23-5-202
Tel. 03-3330-0734

掲載は無料です
どうぞご利用
ください



コロナ諸制度が延長中

お得な制度の申請をサポート Tel.03-3313-1445

今月末 緊急小口資金・総合支援資金 で申請期限

ついに今月末が初回の申請期限！ 緊急小口資金は最大20万円まで、総合支援資金は月20万円(2人以上世帯)×原則3か月=60万円を無利子・無担保で借りられます。返済時の状況によっては返済不要。申請は郵送で可能なケースも。支部まで相談を。

9月末まで延長 事業主向けには… 雇用調整助成金

仕事が減り労働者を休ませて休業補償をした事業主向け。日額9,000円相当を上限とする特例が延長されています。心当たりの方は支部まで相談を。

9月末まで延長 労働者の申請も可 休業支援金給付金

休業補償がでない事業所の労働者向け。日額11,000円相当を上限とする制度。期間が延長されています。今年1月以降の休業が9月末まで申請可能。

楽しいイベントも用意

8.21 (日) | よみうりランドBBQ

すぐ支部まで

夏休み最後の思い出に家族で楽しめる企画です。要予約(支部・藤澤まで)。



【と き】8月21日(日) 11時開始(少雨決行)
【対 象】組合員と家族(同居のお子さん)
【参加費】入園+BBQは無料
フリーパス利用は大人2,000円、小人1,500円
【締 切】支部までお問い合わせください。
当日はスカイゲート前集合。京王線よみうりランド駅からゴンドラでお越しください。

9.25 (日) | 米作り体験第2弾「稲刈り」

楽しい収穫体験・梨狩りもセット



春に植えた稲が、いよいよ収穫の時を迎えます。田植えに参加した方だけでなく、稲刈りからの参加もOKです。梨狩りもセット。
【と き】9月25日(日) 朝7時30分支部出発
【対 象】組合員と家族(同居のお子さん)
【参加費】大人1,000円 小学生500円



東京都あてハガキ要請

あなたの1枚が土建国保を守る

今月から9月まで東京都あてのハガキ要請に取り組みます。

みなさんの書いたハガキ一枚一枚に都の担当者が目を通し、補助金獲得・国保制度の維持に大きな効果のある運動です。

東京都からの補助金は、条文上は「補助しなければならない」という義務的なものではなく、補助「できる」と書かれている任意的なもの。しっかり要求しないと補助金のカットのおそれが強いものです。

補助削減は組合全体の運営に直結します。組合のみの加入の方も、土建の屋台骨・国保を守るためにご協力ください。

7.26 消費税インボイス学習会



7月26日、夜7時から消費税インボイス問題の学習会を38人の参加で開催しました。講師の中島宏治税理士は制度の仕組みや問題点を解説。その後、質疑応答をおこないました。

学習会の中で明らかになった最大のポイントは、商売の形態により影響がさまざまあることです。あなたはどっち？

- ① 個人の消費者だけを相手に商売している人
インボイスの影響は少ない。
 - ② 業者から仕事を受ける人
消費税の課税業者にならざるを得ないおそれあり。
 - ③ ①②の両方がある人
課税業者登録しないと、損をする可能性が大きい。
- 年間売り上げ5、000万円以下の方は「簡易課税」がおススメ。本則課税の場合は帳簿も整備もとても大変になります。誰にとっても良いのは運動で来年10月のインボイス実施を止めること。

中野警察による組合員不当取調事件⑪



中野健太郎さん

2019年2月に品川支部の中野健太郎さんが工具を積んだ車で休んでいただけで、犯罪者扱いの不当な取り調べを深夜に長時間受けた事件の続報です。

東京高裁初の公判 警察は非を認め謝罪を

判決ができました。しかし東京都が控訴し、中野さんも付帯控訴して、東京高裁で争われることになっていました。7月20日に第一回公判が開かれ、双方が主な主張を提出。都側の控訴状は新たにつくったような話もみられ、深夜に長時間の取り調べをした事実には揺らぎはありません。

税の無駄遣いの引き伸ばしをやめ、早く非を認めて謝罪をしてもらいたいものです。
次回の公判日程
10月12日(水) 10時30分
東京高裁第424法廷

仲間です よろしく

8月当初人員3,124人
(分会・群順 敬称略)

氏名	職種	所属	紹介者
山内 宏徳	床・内装	西荻	直接加入
江村 静雄	土木・舗装	西荻	転入
南 靖二	建築・大工	西荻	藍川 真樹
佐藤 武司	冷暖房	西荻	上里 涼子
関本 匠馬	建築・大工	阿佐谷	長岡 利和
山田 みゆき	建築・大工	中央	藤原 武紀
瀧澤 充	建築・大工	中央	莊加 勇三
富田 悠介	塗装	福福	富田 孝義
鹿野 由加	電気	福福	転加入
小櫻 貴大	床・内装	福福	直接加入
HO NGHIA VIE	床・内装	福福	小櫻 貴大
HO CANH DAI	床・内装	福福	小櫻 貴大
飯田 カスン	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
SURECANNABE	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
安藤 陽介	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
猪狩 裕幸	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
橋本 一輝	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
中山 高史	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
井上 仁貴	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
小松 重清	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
大森 武敏	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
児玉 勝隆	はつり・解体	福福	小櫻 貴大
横江 昌明	給排水・衛生・ガス	福福	小櫻 貴大
和泉 文	給排水・衛生・ガス	福福	小櫻 貴大



第344回

私は、北海道は流水でも有名なふるさと納税でも全国1位の紋別の出身(現・紋別市真砂町)。7人きょうだいの末っ子です。「徳雄」の名は、当時は珍しかった大学出の祖父(母の父)が、私の父・忠徳からも一文字取って徳のある男になれとの願いで名づけたそうです。

どもたちは、春は山菜採り、夏は海で釣りや潜つての漁、冬は山スキーやスケート。四季ことの外遊びもしながら育ちました。中学校をでて就職する時に、漁師の仕事は母の反対があつて選ばず、いとこの縁で東京にでて、左官屋に入りました。厚生年金もあるゼネコンメインの会社で1年9か月修業を積んだ時、会社がつぶれてしまいました。

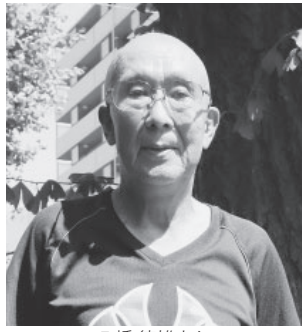
厳しくも豊かな自然に育ち 信用第一の仕事で

のりお 八幡 徳雄さん 井萩・左官

現場での仕事仲間との縁で、兄の芳喜とともに、埼玉の川口にいた親方のもとで仕事をするようになり、その後、さまざまな親方のもとで兄とともに左官の仕事をしていき、都営住宅や小学校、芝浦の税関、防衛省の改修など、さまざまな現場に携わり、6年ほど前に大病するまで、一貫して左官の仕事が続けてきました。

の多くの家は裕福でなかったため、子どもができる仕事を受け渡されていて、私も兄から引き継いで新聞配達や納豆売りをやり、学校を卒業する前に、年下の友人に譲りました。そうした労働の間をみて、子

以前は元請の慰安旅行だけでなく仲間内でも旅行したものです。まだ闘病の日々が続きませんが、しっかり治して、昔の仲間とも旅行などを楽しめたらと思っています。



八幡 徳雄さん

【取材・喜多正之】

組合でできることたくさんのこと 学びと交流の第一歩に

7/1

上期新加入者歓迎会を24人で開催

7月1日に、新加入者歓迎会を支部会館で開催しました。新加入者10人を含む24人が参加しました。

午後7時に開会し、冒頭で15分ほどの組合の歴史紹介動画を放送し、すぐに乾杯、懇談に移り、分会担当役員が率先してテーブルを回り、各分会からの新加入者・紹介者と歓談しました。ひといきついたところで、改めて組合の制度を藤澤書記がスクリーンを使って紹介しました。入院の窓口負担の軽減や、病気・ケガの給付、労災保険や厚生年金、建設業許可など、仕事で必要なさまざまなものを組合がサポートしています。

従来毎月おこなっていた新加入者説明会をグレードアップして、上半期の新加入者全体とその紹介者を対象に、組合の制度学習と新たな仲間と支部・分会役員交流の場として企画しました。

参加者からは「制度がいろいろあり、大卒がわかってよかった」「多くの仲間がいて楽しい交流ができた」といった声があがっていました。



杉並初の女性区長登庁



マスコミも大注目の杉並区

7.11 岸本さところ区長初登庁

6月の区長選で当選した岸本さところさんが、杉並区初の女性区長として、7月11日に初登庁しました。

支援した区民や報道陣が詰めかけるなか、岸本さんは自転車で登場。大勢の声援を受けながら区役所に入っていました。当日ライブ配信された就任記者会見は杉並区公式ホームページから見られます。



共済給付

7月慶弔病見舞金支給 43件

どけん共済は組合員が病気やケガで働けなくなった時の生活を助け合

い、結婚や出産、仲間や家族が亡くなった時などに給付されるみんなの助

け合い制度です。これまで多くの仲間が給付を受けています。(敬称略)

おめでとう

【結婚】 山本 翔太(富士見) 11件

【資格取得】 長谷川秀夫(井萩) 本多 稲子(西萩)

【お大事に】 (傷病見舞金) 1件

【お悔やみ】 申しあげます (家族死亡) 1件

塩田 顕広(富士見) 佐藤 優(富士見) 納 新二(阿佐谷) 上原きみ糸(高和) 原 良平(泉南) 山岡 卓也(泉南) 野口 勝昭(泉南) ほか21件